

「あっ、ホームから人が転落！」。警務士が機敏で的確な対応で無事に救助

JR中央線国分寺駅で、酔ってホームから線路に転落した男性を、警備中のCSP多摩支社八木孝徳警務士(26)が無事救出しました。

夜間、同駅下り線ホームで警戒中に後方で女性の悲鳴を聞いた八木警務士がそちらを振り向くと、約20m先で年配の男性が線路に転落していました。直ちに列車停止ボタンを押し、無線で駅社員に連絡を取りながら入ってきた列車に両手を大きく振って停止の合図をしました。電車は転落現場の数10m手前で停止しました。八木警務士は乗客によってホームに引き上げられた男性を駅長室へ連れて行きましたが泥酔状態で、足にケガをしており病院に運ばれました。

この機敏で適切な八木警務士の判断と行動に後刻、駅長からお礼の言葉が贈られ、CSPの社内表彰が行われました。

八木警務士は、この日はじめて同駅の警備に就きましたが、「意外に落ち着いて対応できました。これからももっと勉強と経験を積んで、社会の『安全』を守っていきたい」と話しています。



「社内表彰を受ける八木警務士」